

脱貧困座談会

田中 修

はじめに

習近平総書記は6月23日、山西省太原市で「貧困が深刻な地域の脱貧困堅塁攻略座談会」を主催した。座談会には、山西省・雲南省・チベット自治区・青海省・新疆ウイグル自治区・山西省の書記、貧困が深刻な11地域¹の市・州・県・旗の書記が発言し、習近平総書記が重要講話を行った（新華社太原電2017年6月24日）。

このほか、会議には王滬寧・汪洋・栗戦書政治局委員、周小川人民銀行行長が参加した。本稿では、習近平総書記の重要講話の概要を紹介する。

18回党大会以来、党中央は貧困人口の脱貧困を、小康社会の全面的実現の最低ラインの任務・典型的な指標とし、全国範囲で全面的に脱貧困の堅塁攻略戦を打ち鳴らしてきた。

脱貧困堅塁攻略の程度の大きさ、規模の広さ、影響の深さは未曾有のものである。現在、各方面がみな行動を起こしており、党中央の各政策決定・手配はかなり好く実施されており、貧困大衆の生活レベルは顕著に高まり、貧困地域の様相は明らかに改善している。

わが国の脱貧困堅塁攻略の任務は依然十分困難である。現在の貧困者の大多数は貧困の深刻な地域に集中している。これらの地域の多くは、旧革命根拠地・辺境地域であり、インフラと社会事業の発展が遅れており、社会文明の程度がかなり低く、生態環境が脆弱であり、自然災害が頻発し、貧困人口のウェイトと貧困発生率が高く、1人当たり可処分所得が低く、集団経済が薄弱であり、脱貧困の任務が重く、遅れば遅れるほど、脱貧困のコストがより高くなり、難度がより大きくなる。

脱貧困堅塁攻略は、本来激戦であり、貧困が深刻な地域の脱貧困堅塁攻略はなおさら激戦中の激戦であり、より集中的に支援を与え、より有効な措置を採用し、より有力な施策を展開しなければならない。

貧困が深刻な地域の脱貧困堅塁攻略を早急に推進するには、党中央の統一的手配に基づき、

- ① 精確な脱貧困と精確な脱貧困の基本方略を堅持し、
- ② 中央が統一的に企画し、省が総責任を負い、市・県が実施に取り組むという管理体制を堅持し、
- ③ 党・政府が一緒に総責任を負う政策の責任制を堅持し、

¹ 貧困が深刻な地域は、山西省・江西省・湖北省・湖南省・四川省・甘肅省・河北省・内モンゴル自治区・広西チワン族自治区・陝西省・寧夏自治区に存在する。

④特定の貧困扶助・業種の貧困扶助・社会的な貧困扶助等の多方面のパワー・多様な措置が有機的に結びつき、互いに支え合う「三位一体」の貧困扶助の大きな枠組みを堅持して、

際立った制約問題の解決を重点とし、重大な貧困扶助プロジェクトと村・農家にまで及ぶ支援措置を掴みどころとし、不足部分を補うことを突破口としなければならない。

近年、我々は深刻な貧困問題を解決するうえで、多くの成功の経験と手本を有している。高度に重視し、思考が適切で、措置が有力で、施策が着実でさえあれば、深刻な貧困に完全に打ち勝つことができることを、実践は証明している。

次の 8 項目を要求する。

(1) 合理的に脱貧困目標を確定する

2020 年の脱貧困堅塁攻略の目標を、党中央はすでに明確に規定している。

すなわち、2020 年までに

- ①農村貧困人口が、衣食を心配せず、義務教育・基本医療・住宅が安全に保障されることを安定的に実現し、
- ②貧困地域の農民の 1 人当たり可処分所得の伸びが全国平均水準を上回り、基本公共サービスの主要分野の指標が全国水準に接近することを実現し、
- ③わが国の現行基準における農村貧困人口が脱貧困を実現することを確保し、貧困県をすべて解消し、地域的な全面貧困を解決する。

貧困が深刻な地域も、この目標を実現しなければならず、同時に事実即して問題进行处理することを堅持し、無理に駆り立てたり、過大な期待を持たせてはならない。

(2) 支援の投入を強化する

政府投入の主體的・主導的役割を發揮させ、金融資金の誘導・協同の役割を發揮させなければならない。

①新たに増やす脱貧困堅塁攻略の資金は主として貧困が深刻な地域に用い、②新たに増やす脱貧困堅塁攻略のプロジェクトは主として貧困が深刻な地域に手配し、③新たに増やす脱貧困堅塁攻略の措置は主として貧困が深刻な地域に集中させる。

各地方が手配する民生優遇プロジェクトは貧困が深刻な地域に傾斜させ、貧困が深刻な地域で新たに増やす「三農」関連資金は脱貧困堅塁攻略のプロジェクトに集中・整合的に用いなければならない。

各レベルの財政は、貧困が深刻な地域への移転支出の規模を増やさなければならない。

各種の措置を通じて、貧困が深刻な地域の脱貧困堅塁攻略を支援する、強大な投入の合能力を形成しなければならない。

(3) 優勢な兵力を集中して堅壘攻略戦を戦う

パワーを集中して大事を処理するという制度の優位性を発揮し、貧困が深刻な地域の公共サービス・インフラ及び基本医療を保障するという問題を、重点的に解決しなければならない。

- ①居住の自然条件が特別劣悪な地域の大衆については、転地移送による貧困扶助を強化し、
- ②生態環境の脆弱な開発禁止地域・開発制限地域の大衆については、森林保護人員等の公益ポストを増やし、
- ③病気により貧困となっている大衆については、医療救済・臨時救済・慈善救済等の貧困扶助を強化し、
- ④産業支援・就業支援によっては脱貧困ができない家庭については、政策的な最低保障責任制を実行する。

(4) 地域の発展では、精確な貧困扶助を軸に力を発揮しなければならない

貧困が深刻な地域の発展は精確な貧困扶助の基礎であり、精確な貧困扶助の重要な構成部分でもあるので、貧困減少を軸に進めなければならない。

- ①貧困人口が受益できる産業を重点的に発展させ、
- ②交通建設プロジェクトはできるだけ農家に傾斜させ、
- ③水利プロジェクトは貧困農村と小規模農業生産に傾斜させ、
- ④生態保護プロジェクトは貧困人口の参加率と受益水準を高めなければならない。

(5) 各方面の扶助を強化する

東部・西部の貧困扶助協力・対口支援、中央の単位が定点的に貧困扶助を行っている対象が貧困の深刻な地域にある場合には、資金・プロジェクト・人員方面を強化しなければならない。

東部の経済が発達した県が西部の貧困県と互いに助け合い「手を携えて小康に向かう行動」と民営企業による「多数の企業が多数の村を助ける行動」は、いずれも貧困が深刻な地域に傾斜させなければならない。

多様な形式を通じて、社会のパワーを積極的に誘導し、貧困が深刻な地域の脱貧困堅壘攻略に広範に参加させなければならない。

(6) 内生的動力の育成を強化する

貧困扶助と知恵・志の面の支援を結びつけることを堅持し、貧困地域と貧困大衆が貧困から脱し富裕に向かうための内生的活力を奮い立たせることを重視し、貧困地域と貧困大衆が自らの手で発展する能力を高めることを重視しなければならない。

施策の方式・方法を改善し、生産奨励補助、労務補助、救済に代わる仕事の提供等のメカニズムを多く採用し、貧困大衆を教育・誘導し、自分で仕事に精を出すことを通じて、

貧困から脱し富裕に向かわせなければならない。

(7) 組織的な指導を強化する

貧困が深刻な地域の党委員会と政府は、脱貧困堅塁攻略を第13次5ヵ年計画期間の筆頭重要事項とし、民生プロジェクトの第一優先とすることを堅持し、人員を満足させ、責任をしっかりと果たし、施策を完全に履行して、効果を十分に出さなければならない。

県委員会書記は、脱貧困堅塁攻略に全責任を負い、進度の調整・プロジェクトの実施・資金の使用・人材の手配・実施の推進等の施策を統一的にしっかりと企画しなければならない。

脱貧困堅塁攻略の期間内においては、貧困県の県レベル党・政府の正ポストは、安定を維持しなければならない。

農村末端の党組織の実務に励み、書記をしっかりと選び、強力な指導グループを配置し、脱貧困堅塁攻略における村党組織の戦闘の堡塁としての役割を、好く発揮させなければならない。

貧困が深刻な地域を、幹部の鍛錬・幹部の選抜の重要なプラットフォームとしなければならない。

(8) 検査・監査を強化する

年度の脱貧困堅塁攻略の報告と監査制度を堅持し、最も厳格な考課・評価を実施し、厳しくなく不実で、虚偽報告をする者に対しては厳粛に問責を行い、貧困扶助資金を流用・横領する行為に対しては厳粛に処分を行わなければならない。

貧困扶助政策の実務に励まなければならない、脱貧困のプロセスは着実なものでなければならない、脱貧困の結果は真実でなければならない、脱貧困の計画は現実から乖離して勝手に予定を繰り上げてはならず、貧困扶助の基準を勝手に引き下げてはならず、決して数字上だけ脱貧困として虚偽報告を行ってはならない。

(6月27日記)